

## 「当院における窒息事例の検討」

### ○研究の概要

窒息はすべての年齢層に発生し、低酸素血症による意識消失、呼吸停止から心停止に至る緊急度の極めて高い病態である。窒息事故が発生する場所は自宅、施設、病院とさまざまであるが、これまで病院内、特に急性期病院で発生した窒息事例に関する報告は極めて少ない。今回われわれは、当院（急性期病院）における窒息事例を検討することで窒息に対するリスク管理と対策を準備していくことを目的としている。

### ○研究の目的と方法

当院入院患者で発生した窒息事例を対象とし、診療録、看護記録を用いて後方的に検討する。

### ○本研究の参加について

以下の対象患者に対して、過去の診察情報から調査を行う。新たに検査や情報を取得することはない。

・対象基準：

- (1) 令和5年4月1日～令和8年3月31日までの間に当医療センターに入院していた患者
- (2) 当院で窒息事例としてインシデント・アクシデントに上がってきた患者

なお、ご自身のデータを本研究に使わないでほしいと希望される方、その他、研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先にご連絡ください。

### ○調査する内容

2023年4月1日以降に当院で窒息事例としてインシデントに上がってきた患者。

利用する診療情報は、性別、診断時年齢、担当科、主病名、既往歴、服薬内容、介護認定、歩行、排泄、日常生活のADL、入院前の食事形態、入院時のEAT-10、窒息前のコミュニケーション、窒息前のせん妄の有無、窒息発生日、窒息場所、食形態、窒息食物、窒息時の摂取状況、食時介助・見守りの有無、窒息時の臨床所見、窒息時の対応、Dr ハートの有無、転帰、臼歯部の咬合状態、嚥下評価の有無、BML。これらをカルテで確認していく。

### ○実施期間

研究対象期間：令和5年4月1日～令和8年3月31日まで  
研究実施期間：倫理委員会承認後～令和8年3月31日まで

### ○研究成果の発表

海外への論文投稿や国内の学会発表を予定

### ○研究代表者

谷口 広祐  
所属 国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔外科

### ○当院における研究責任者

谷口 広祐  
所属 国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔外科

### ○問い合わせ先

国立病院機構熊本医療センター 歯科口腔外科 谷口 広祐  
096-353-6501（代表）